

市長提出議案 議決結果

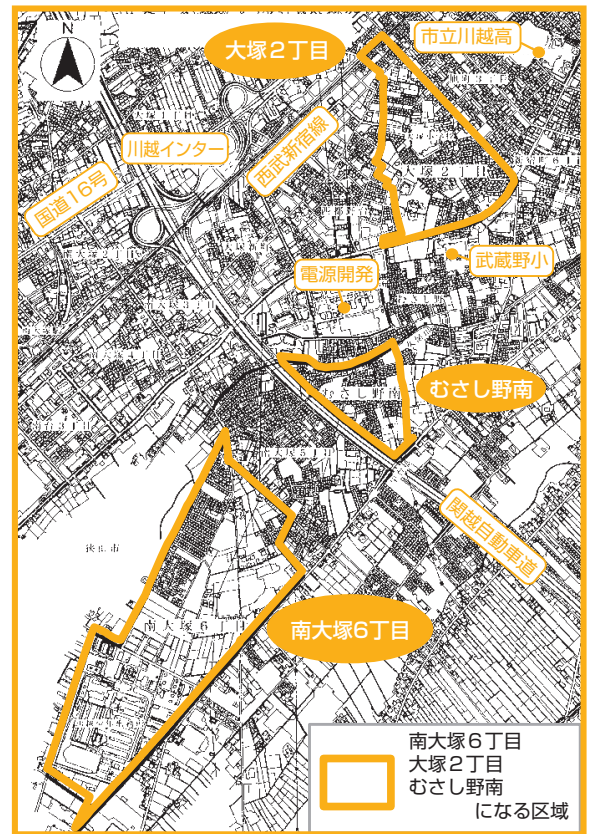
平成23年 第4回 定例会 議案名	議決結果
専決処分の承認を求めること (市税条例等の改正)	承認
平成22年度川越市一般会計歳入歳出決算認定 など11件 主な内容①	認定
町の区域を新たに画すること 3件 主な内容②	原案可決
川越市税条例の一部を改正する条例を定めること	原案可決
川越市水防団条例の一部を改正する条例を定めること	原案可決
川越市スポーツ振興審議会に関する条例及び川越市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めること	原案可決
埼玉県西部第一広域行政推進協議会の廃止	原案可決
川越市道路線の認定 など3件	原案可決
平成23年度川越市一般会計補正予算(第2号) など3件	原案可決
<追加議案>	
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること <山口智也氏>	同意
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 4件 <三芳啓作氏><熊本美智子氏> <渡邊好雄氏><谷島恵美子氏>	同意
監査委員の選任につき同意を求めること <加藤昇氏>	同意



定例会では31件の議案を審議しました。

主な内容① 平成22年度一般会計・特別会計歳入歳出決算について、4つの常任委員会で慎重に審査を行った後、本会議で採決を行い、認定しました。

主な内容②



市長の告示する日から新町区になります。

市政報告

資源化センターの震災補修等の進捗状況について

東日本大震災により損傷を受けたため、各施設の補修を実施しました。

- ・熱回収施設、リサイクル施設：9月上旬に補修完了
- ・草木類資源化施設：8月中旬に補修完了 ※補修費用(総額4,420万円)は、市(1,020万円)と施工業者(3,400万円)が負担することに決定しました。
- ・環境プラザ(つばさ館)：9月13日に再開

市が出資している川越総合卸売市場株式会社に係る第20期定時株主総会における主な決議事項について

6月25日に開催した株主総会で、取締役3名、会計参与1名を選任すると共に、平成22年度に行った第三者委員会による財務調査報告を受けて土地や貸倒引当金、長期未収入金等について決算修正を行いました。

北部市街地の交通問題に関する方針について及び8月30日に開催された「北部中心市街地の交通問題に関する懇談会」の概要について

北部中心市街地の交通対策を検討する委員会から頂いた、一方通行や通行止め等の提言を基本とし、関係機関との協議や周辺道路の渋滞を心配する声を総合的に勘案した結果、直ちに交通規制を行うのではなく、他の施策を先行して実施し、交通量や渋滞を緩和する努力を行いながら提言の内容を段階的に進めるとの方針を発表しました。懇談会では、参加して下さった84名の市民の皆様から、様々なご意見を頂きました。今後、頂いたご意見を参考にしながら、関係機関との調整を図り、出来るものから順次進めていきたいと考えています。

市政に関する 一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載（氏名下の数字は発言順番）しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題（問）を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものととなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録でご覧いただけます。

【会議録の閲覧について】


平成二十三年六月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。

今定例会の会議録は、図書館等では十一月下旬頃から、議会ホームページ上では十一月月上旬頃から閲覧できます。

○会議録を閲覧できる所

- ・市役所六階 議会事務局
- ・市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・市立図書館（四館）
- ・出張所（十箇所）

答弁者名の下に※がある答弁には、表示者以外の関係部長等の答弁が含まれています。




P川越21 石川 智明 1
七億円もの残業代の削減を

問市職員の残業は、年間千時間を超える人が発生するなど、野放し状態にある。残業時間に上限を設定し、七億円もの残業手当を削減するべき。

答市長 市の業務は多種多様であり、一律に上限を設けることは、市民サービスや能率の観点から、必ずしも適当でない場合も想定される。しかしながら、時間外勤務の増加

は、財政や職員の健康管理の両面から、本市にとって大変重要な課題であると認識している。したがって、国家公務員に示されている年間三百六十時間、特段の事情がある場合は年間七百二十時間を上限の目安とした指針を考慮することが、適当と考えている。


食の安全
市職員の残業



P川越21 小林 薫 2
山車改修の地元負担軽減を

問国県市などに指定されていない山車の修理には地元負担が大きい。基金を設置し地元負担の軽減する方法は考えられないものか。

答市長 山車の維持管理において、国、県、市の指定を受けていない山車については、地元の負担が大きいことは認識している。現在、山車の修理につ



やまぎき 中原 秀文 3
今後の川越市の行財政運営

問今後、川越市が実施する行財政運営は、財政規模の考え方も含め、どのような方向を目指しているのか、市長に伺う。

答市長 私の目指す「住むことに誇りを持ち、住んで良かったと思えるまち」の実現には、一定の財政規模を維持することが必要である。財政規模を維持し、今後の市政運営に取り組みには歳入、

特に市税等自主財源の確保が重要になる。今後は、歳入が減少していく厳しい財政状況の下、持続的に質の高い行政サービスを提供していくため、頂いたご提案も踏まえながら、行政改革の徹底や財政基盤の強化など効率的で効果的な行財政運営に努めることが必要だと認識している。


財政と行政の安定化



やまぎき 荻窪 利充 4
西口事業の進捗と周知計画

問周辺住民や駅利用者等の協力と理解は不可欠と考えるが、来年度の工事に当たりどのような順序で進めて、これらの周知をどのように図るのか。

答都市計画部長 低騒音低振動の重機を用いるよう施工業者に求めたり、防音壁を用いる等して、周辺への影響を出来る限り軽減する必要がある。また、川越駅西口の狭い



やまぎき 小野澤 康弘 5
都市防災マニフェストを！

問防災に対する考えを更に一歩進め、新たな状況に対応した「都市防災マニフェスト」を早急に作成し、市民に提案しては

いかがか、市長に伺う。

答市長 今回の震災により、いわゆる都市型災害への対応という意味で、これまでの災害への備えが殆ど機能してこなかった領域での多くの課題を認識させられた。従って、

今後は都市構造そのものの検討も必要になるかと思う。また、都市防災マニフェストと呼ぶべきものもどの様な形で市民に伝えられるか検討したい。

市政を預かり、市民の生命と財産を守る責任者として、今回の災害の経験を生かし、困難度の増す時代を市民の先頭に立つて乗り切る所存である。

防災とエネルギー政策